

令和2年11月30日

株式会社 中国銀行

「継承ジャパン投資事業有限責任組合」設立について

当行は、令和2年度補正予算「中小企業経営力強化支援ファンド出資事業」にもとづき、TSUBASAアライアンスに参加する株式会社千葉銀行、株式会社第四銀行、株式会社東邦銀行、および独立行政法人中小企業基盤整備機構、ロングブラックパートナーズ株式会社の子会社であるLBPI株式会社と共同で、令和2年11月30日(月)に「継承ジャパン投資事業有限責任組合(以下、本ファンド)」を設立しましたので、お知らせいたします。



本ファンドは、事業承継に課題を抱える中小企業を対象に、企業価値向上に向けたハンズオン支援を積極的におこなうことによって、新型コロナウイルス感染症の影響により一層困難となりつつある中小企業の事業承継・事業再編などの経営課題の解決を図っていくことを目的としています。

また本ファンドの設立は、TSUBASAアライアンスによる連携の取組み強化の一環であり、投資先の発掘・バリューアップ・エグジットの一連のファンド運営において、営業拠点の異なる11行の広域ネットワークを活用してまいります。

当行は、地域金融機関として本ファンドを通じて、地域中小企業が抱える事業承継問題の解決に貢献し、地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいります。

【本ファンドの概要】(令和2年11月30日現在)

名称	継承ジャパン投資事業有限責任組合
設立時ファンド金額	3,550百万円(当行は、500百万円を出資)
ファンド総額	約4,000百万円
組合員構成	当行、千葉銀行、第四銀行、東邦銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構、LBPI株式会社
設立日	令和2年11月30日(月)
存続期間	10年間
業務運営者	LBPI株式会社

当行、千葉銀行、第四銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行が参加する地銀広域連携の枠組み。令和2年12月11付で群馬銀行が参加予定。

以 上